第２回全国特別支援学校フットサル大会　千葉県大会開催要項

|  |  |
| --- | --- |
| １　目　　的 | 本大会は、特別支援学校生徒がフットサルを通して、日々、鍛錬してきた成果を踏まえ、自校生徒間のチームワークを深めるとともに、他校生徒に敬意を持って接し、もつて広く社会性を養い、就労への意欲を高めて、インクルーシブ社会の実現に向けた当事者としての成長に寄与することを目的に開催します。 |
| ２　会　　場 | パデル＆フットサル　晴れのち晴れ（タラフレックスコート）タラフレックスコートのコンディションが当日不良の場合は、人工芝コートを使用 |
| ３　日　　時 | 令和５年７月９日(日) |
| ４　主　　催 | 一般財団法人日本ライオンズ |
| ５　後　　援 | 全国特別支援学校長会 |
| ６　主　　管 | 千葉県知的障がい者サッカー連盟 |
| ７　協　　力 | 千葉県特別支援学校体育連盟 |
| ８　大会形式 | 参加校が３校以内の場合は、リーグ戦形式とし、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち３、引き分け１、負け０とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。①当該チームの得失点差②当該チームの総得点数③当該チームの対戦成績参加校が４校以上の場合は、トーナメント戦とし、同点の場合はＰＫ方式により勝敗を決定する。ＰＫ方式に入る前のインターバルは１分間とする。 |
| ９　参加校 | 千葉県内の特別支援学校高等部を対象とする。 |
| 10　その他 | 1校のチームは、生徒3～8名、引率1～2名、計4～10名で編成する。なお、合同チームは、「A養護学校・B高等特別支援学校」等の学校名で編成する。※合同チームの条件：本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないことは無論のこと、5名以上の選手を有する学校同士ではないことを条件とする。(公財)日本サッカー協会合同チーム編成条件の基本的な考え方より |
| 　　　　　　　 | ①大会開催地までの移動に係る合理的な往復交通費は、予算の範囲内で各校に助成する。 |
|  | ②参加校責任者は、自校及び他校生徒等への努力・敬意・勝者への称賛等を大事にする心を持つよう、(公財)日本サッカー協会「リスペクト宣言」を事前に指導する。 |
|  | ③競技規則は、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則を準拠するが、参加学校の特性及び障がいの特性等に応じて、大会主管者が参加校の共通理解のもとで適切に適用する。 |
|  | ④ピッチ上に3名(うち1名GK)がいることで、試合は成立するものとする。 |
|  | ⑤各チームは大会参加前に旅行及びスポーツ傷害保険等の加入手続きを済ませる。⑥大会で優勝した学校は、令和５年８月３０日(水)開催予定の「全国特別支援学校フットサル大会　東関東大会」に出場する。(都合により出場できない場合は、準優勝等の学校が出場する。) |
| 11　申込 | ①別紙「参加申込書」および「参加者名簿」をメールでご提出ください。②**締切日：「参加申込書」　５月２６日（金）／「参加者名簿」　６月２３日（金）** |
| 12 費用 | 大会参加費は無料とする。（会場までの交通費は予算の範囲内で助成） |

競　技　規　則

本競技規則は、一般財団法人日本LCIF主催の特別支援学校フットサル大会で適用する。

1. ボールはフットサルボール4号球を使用する。
2. 選手の交代は自由である。

試合開始前に選手全員が審判に用具のチェックを受け、試合中の申し出は不要とする。

交代時は、ピッチ内の選手が完全にピッチの外に出てから、次の選手がピッチ内に入る。

また交代ゾーンを設置しないので自陣ベンチ付近にて交代をする。

1. キックインはボールがピッチから出た地点のライン上とし、静止したボールを蹴る。その際に軸足がラインを踏む、超える等は問わないものとする。
2. ゴールクリアランスは、ゴールキーパーがペナルティエリア内から実施する。
3. キックオフ、キックインから直接ゴールは出来ない。直接ゴールした場合は、ゴールクリアランスから再開する。
4. キックイン、フリーキック等により再開する際は、相手選手は５ｍ以上離れる。
5. 前後半３ファウル制を適用する。

前、後半それぞれ各チームの累積ファウル４つ目からファウルの起きた地点もしくは第

２ペナルティーマークのどちからを選択し直接フリーキックを行う。

この場合、ファウルをしたチームの選手はＧＫを除きボールとゴールラインの間に位置

することはできない。

1. 試合時間は、３０分間（各１５分間からなる２つのピリオド）のランニングタイム方式とし、ハーフタイムのインターバルは１０分間（第１ピリオド終了から第２ピリオド開始まで）とする。
2. 前、後半のコートチェンジは、速やかに行う。
3. タイムアウトは適用しない。
4. 安全面を考慮し、対人場面でのスライディングタックルを禁止する。なお、スライディングタックルがあった際は、その場から直接フリーキックにて再開する。
5. バックパスルールは競技規則通りに適用する。
6. 退場処分は、レッドカードもしくは１試合２度のイエローカードによるものとするが、次の試合には累積しない。退場後の選手の補充は競技規則に則るものとする。
7. 選手は、同色のユニホームを着用する。ユニホームがない場合、又は両チーム同色の場合は、大会本部が用意したビブスの着用により対処する。
8. 出場選手は必ずレガースを着用することとする。
9. ネックレス、指輪、ピアスなどの装飾品をテープ等で覆うことを禁止とする。ヘッドギアやフェイスマスク、膝や肘のサポーターは柔らかくパッドの入ったものとする。眼鏡を着用する際は、スポーツメガネ、又はゴーグル等でカバーすること。いずれの場合もチームの第１試合の前に大会本部の承認を得ることとする。
10. ベンチには大会に登録された選手、スタッフのみが入れる。

|  |
| --- |
| ◎ 審判への監督や選手からの不平不満、異議、抗議などがあった際は警告します。場合によっては、チームを失格とし会場からも退場してもらいます。各校指導者の審判への不平不満は一切禁止です。 |

※合同チームの条件

(公財)日本サッカー協会合同チーム編成条件の基本的な考え方を準用する。

|  |
| --- |
| 選手数が不足している特別支援学校の複数チームによる「合同チーム」の大会参加を認めます。ただし、本大会の趣旨を重視し、勝利至上を目的とする合同ではないことは無論のこと、5名以上の選手を有する学校同士ではないことを条件とします。 |